

<「知るっば!久留米」 令和3年2月25日(木) 12:30~放送分>

久留米藩主有馬家墓所 ～第2回～ 「久留米藩主有馬家墓所が国史跡へ(2)」

<ゲスト：久留米市役所 文化財保護課 神保公久さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

前回に引き続き、国の文化審議会から国の史跡にするように答申が出されました

『久留米藩主有馬家墓所』について、お送りしていきます。ゲストはこの方です。

ゲスト:神保公久さん(以下「神保」)

久留米市役所文化財保護課の神保と申します。

よろしくお願いします。

坂本 よろしく申し上げます。

前は、久留米藩主の有馬家について、当時の久留米の状況や時代背景など面白いお話を伺いました。

有馬家の歴代藩主達のお墓、つまり墓所が、

今回、国の史跡『久留米藩主有馬家墓所』になるということですね。

まずは、その場所がどこにあるのか教えてください。

神保 『久留米藩主有馬家墓所』は、JR久留米駅の京町口を北側へ徒歩約5分程度の場所にある梅林寺というお寺の境内にあります。

梅林寺は、久留米市街から長門石方面へ行くときに渡る長門石橋の手前にあるお寺ですので、市民のみなさんはよくご存じなのではないかと思います。

坂本 梅林寺はよく知っていますよ。

お花の時期とかは花見に行ったり、広報くめの取材で何回もうかがいました。

でも、梅園にはよく行っていますが、お寺の境内にはあまり入ったことがないんですよね。

禅寺として知られている梅林寺なのですが、お寺の始まりはどういったものだったのですか？

神保 梅林寺は、臨済宗妙心寺派のお寺で、現在は九州でも屈指の禅の修行道場として知られています。

元々は、江戸時代に大名有馬家の菩提寺として建てられています。

久留米藩を治めた大名有馬家ですが、元々は京都の福知山を治めていましたので、

福知山に瑞巖寺(ずいがんじ)という菩提寺を建てていました。

そして、初代藩主の有馬豊氏(とようじ)が久留米に転封(てんぼう)になった際に、

その瑞巖寺を久留米に移したと言われています。

坂本 元々は、福知山にあったお寺なんですね。

神保 久留米に移した後、最初は大龍寺(だいりゅうじ)と呼んでいたようです。
その後、寛永7(1630)年に今の兵庫県三田市にあった有馬豊氏の両親のお墓を久留米に移したのですが、その際に父・則頼(のりより)の院号である梅林院殿(ばいりんいんでん)からとって、梅林寺と名付けられたと言われています。

坂本 梅林寺にはそういった歴史があったのですね。
それでは、その梅林寺にある有馬家墓所について教えてください。

神保 『久留米藩主有馬家墓所』ですが、梅林寺の本堂の裏手にある墓地の一角にあります。
広さは約2450㎡ありまして、小高い丘の上段と下段に分けて造られています。
丘の上段には、江戸時代の前期に建てられた木造の建造物、そして歴代藩主の石塔があり、
丘の下段には、江戸時代前期の建物と有馬家一族の石塔が広がっています。

坂本 約2450㎡というと、どれくらいの広さですか？

神保 テニスコートでいうと10面分くらいあります。

坂本 それは広いですね。

神保 丘の下段にある墓地が正面なんですけど、正面には初代藩主豊氏のお父さんの藩祖則頼とその妻、
そして娘の3人の墓石が納められた木造の建物があります。
この建物は、もうすぐ築400年になる市内最古の木造建築になります。
その東側には、初代豊氏とその妻、2代藩主忠頼(ただより)の墓石、
そして、5代藩主頼旨(よりむね)の供養塔が納められた建物があります。
こちらは、豊氏が亡くなった寛永20(1643)年に建てられたもので、
まもなく築380年を迎えようとしています。
そして、丘の上段には、3棟の木造建築と、
歴代藩主を祀った4mを超す大きな石塔が7棟並んでいます。
3棟の建物は、初代豊氏とその妻、そして2代藩主忠頼、それぞれの位牌を納めた建物で、
先ほどお話した墓石を納めた2棟の建物と合わせて計5棟の建物が、
平成30年12月に『有馬家霊屋五棟(ありまけたまやごとう)』として、
国の重要文化財に指定されました。

坂本 まずは、平成30年に5棟の霊屋が重要文化財の指定を受けていたのですね。

神保　そして、今回、有馬家霊屋や歴代藩主の石塔、その周りの有馬家一族の石塔などを含むエリアが、国の史跡『久留米藩主有馬家墓所』として、指定するように答申があったということになります。この答申では、近世大名家の葬（ほうむ）り方などを知る上で、大変貴重であると高く評価されています。

坂本　今度は、その霊屋を含む藩主や一族の石塔など墓地全体が、『久留米藩主有馬家墓所』として国の史跡になるんですね。これは大変貴重な史跡ということですね。

神保　そうなんです。江戸時代、全国には約300の藩があったのですが、墓地全域が国の史跡に指定され、なおかつ建造物の霊屋が重要文化財に指定されるという2重の指定を受けるのは、全国で2例目なんです。ちなみに、もう1例は、長野県長野市にある有名な真田幸村のお兄さんが初代藩主の『松代藩真田家墓所（まつしろはんさなだけぼしよ）』です。

坂本　今回、国史跡になる『久留米藩主有馬家墓所』について、よく分かりました。ここは、誰でも見学できるんですか？

神保　『久留米藩主有馬家墓所』は、梅林寺さんの境内裏手にある墓地の一角にありますので、どなたでも見学できます。でも、墓地ですので、節度をもってご見学いただきたいと思います。

坂本　文化財保護課の神保さん、興味深いお話をありがとうございました。次回は、久留米ゆかりの画家「高島野十郎」をテーマに、彼の生き方とその作品についてお送りします。おたのしみに。